

第179回国際研修（矯正施設の運営及び犯罪者の更生）（オンライン実施）
「少年司法とその展開－非行少年及び若年犯罪者に対する効果的な諸方策」

1 日程及び参加者

- 令和4年9月6日（火）から同月29日（木）まで
- 海外参加者16か国24名

2 研修概要

少年は社会的及び心理的に未熟である一方、可塑性に富んでいるため、適切な介入や支援があれば、円滑な社会復帰を目指すことができることから、施設内処遇と社会内処遇が連携し、時期を逸せずに適切な処遇を行い、健全な育成を図ることが重要です。また、成人であっても、若者は多くの点で少年と類似していることから、若年犯罪者に対しても、少年に対する処遇や支援を適用する可能性を模索することが重要であるといえます。これらを踏まえて、本研修では、非行少年及び若年犯罪者に対する効果的な施設内処遇及び社会内処遇や望ましい少年司法制度の在り方について、各国の知見や取組を共有し、議論及び検討することを目的としています。

3 研修実施方法

新型コロナウイルスに関する情勢に鑑み、オンライン形式により実施します。

4 客員専門家等

本研修においては、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う予定です。

【客員専門家】

- ガーナー・克蘭シー氏
シドニー大学ロースクール 准教授
（講義題）「若年犯罪者の社会復帰」
- ハンナ・ティーフェングレイバー氏
国連薬物・犯罪事務所 専門家
（講義題）「テロ対策及び安全保障に関連した少年司法と子供に対する暴力」

【外部講師】

- 立花 好教氏
東京家庭裁判所立川支部 統括主任調査官
（講義題）「少年事件における家庭裁判所調査官による調査・調整」

○ 那須 昭洋氏

法務省矯正研修所効果検証センター 効果検証官

(講義題)「エビデンスに基づく再犯防止施策に向けた取組ー少年向けア
セスメントツールの活用とプログラムの効果検証ー」